取扱説明書 (操作用) ドき、5% 1950000mm. McBurg CPCREarce(A), 0 - 289-73 (中気)また気(報告), 0 - 289-73 形式 中方法の第一次のであるためでのである。 日次 日次 日次 建築振見 3 各部の名称 4 ● 高麗図 ● 高麗図 (操作カイー間放明) 4 ● 高麗図 (操作カイー間放明) 4 ● 高麗図 (操作カイー間放明) 4 ● 高麗図 (操作カイー間放明) 4 ● 西國図 (操作カイー間放明) 4 ● 西國図 (操作カイー同放明) 5 ● 西國区 (集作カイー同放明) 5 ● 西国区 (集行カイー同放明) 5 ● 西国区 (集行カイー同放明) 5 ● 西国な and Control Functions 6 ● Exception Codes 6 ● Data and Control Functions 6 ● Exception Codes 7 ● Modus L/O St(f) 7 ● JATA TYPE 7<	積/	層形表示灯 インテリジェントタワー シリ <u>ーズ</u>	
(操作用) 特定小電力無線表示灯 THADSWAT / TROGNAT / TRO	取扱説明書	小形、直径 40/50/60mm、Modbus/TCP(Ethernet)、スリープ動作型 920MHz 帯特定 小電力無線局(親機)、0~5 段ランプ	形式
日次 構築現実 3 ● 前室図 (操作カ:/	(操作用)	特定小電力無線表示灯	IT40SW7 / IT50SW57 / IT60SW7
日次 3 後期必要 3 ●前回回(操作か/─問放時) 4 ● 直面回 4 ● 認知(操作か/─問放時) 4 ● 認知(以下) 3 ● 別作モード起注用ディップスイッチ(Mode) 4 ● IP F ドレスリセット見スイッチ(IP Resel) 5 Modbus フッククションコード 6 ● Data and Control Functions 6 ● 王なのpton Codes 6 Modbus // O 割付 7 ● JATA TYPE 7 ● JATA TYPE 7 ● JATA TYPE 7 ● Zog Xg/fa 9 ● 認友 Xg/fa 9 ● 認友 Xg/fa 9 ● 認友 Xg/fa 9 ● 認友 Xg/fa 10 Modbus/TCP 設定 11 ● 認太 Xg/fa 12 ● Xg/fa 13 ● Xg/fa 13 ● Xg/fa 14 ● Xg/fa 15			
日、久 3 後能概要 3 各部の名稿 4 ● 前面図 (操作力バー関防時) 4 ● 成面図 4 ● 成面図 4 ● 以表表示ランブ 4 ● 以表表示ランブ 4 ● 以本目に設定用ディップスイッチ(Mode) 4 ■ ドモード設定用ディップスイッチ(IP Reset) 5 Modbus ファンクションコード 6 ● Data and Control Functions 6 ● Data and Control Functions 6 ● DATA TYPE 7 ■ ALT YPE 7 ■ ALT ALT YPE 7 <t< td=""><td></td><td>日、次</td><td></td></t<>		日、次	
 機能概要 3 各部の名称 前庭園(梁作れ)(-朝放時) 【家園(梁作れ)(-朝放時) (本) 秋夜(茶菜ボランブ (本) 秋夜(茶菜ボランブ (本) 秋夜(水菜ボランブ (本) 秋夜(水菜ボランブ) (本) 小衣(水菜) (4) 小秋(水菜) (4) 小秋(x) 			
各部の名称	機能概要⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯		
● 前面図 (操作カバー開放時) 4 ● 後護表示ランブ 4 ● 放き用ディップスイッチ(Mode) 4 ● NATE-F装定用ディップスイッチ(Mode) 5 ● Data and Control Functions 6 ● Data and Control Functions 6 ■ Steppion Codes 6 ■ ADDRESS MAP 7 ■ ADDRESS MAP 7 ■ DATA TYPE 7 ■ Mate State 8 ■ Web ブラウザによる接続 8 ■ Web ブラウザによる接続 9 ● 設定 第目 10 ■ COP/P 設定 10 ● 設定 第目 12 > アル送信設定 12 > 子優全 熱 12 > アレル目標 無能設定 12 > アレル型信設定 13 ● スレール 部 14 ● 設定 第目 15 ● 操作員 15 ● 設定 第目 15 ● 操作員 17	各部の名称		4
地面回 4 Utま素ランブ 4 Wht モード設定用ディップスイッチ(Mode) 4 Wht モード設定用ディップスイッチ(Mode) 5 Modbus ファンクションコード 6 Data and Control Functions 6 Exception Codes 6 Modbus I/O 割付 7 ● Atta and Control Functions 6 ■ Code 7 ● Atta and Control Functions 6 ■ Code 7 ● Atta and Control Functions 7 ■ OATA TYPE 7 ■ OATA TYPE 7 ■ OATA TYPE 7 ■ Atta And Control Functions 8 ■ Web ブラウザによる接続 8 ■ Web ブラウザによる接続 8 ■ Web ブラウザによる接続 8 ■ Web ブラウザによる接続 9 ■ Web ブラウザによる接続 9 ■ Web ブラウザによる技術 9 ■ Web ブラウザによる技術	■ 前面図(操作カバー開放時) ■ 京王岡		4
 動作モード設定用ディップスイッチ(Mode) ■ P アドレスリセット用スイッチ (P Reset) S D アドレスリセット用スイッチ (P Reset) S Data and Control Functions Exception Codes Modbus L/O 割付 T F & ADDRESS MAP DATA TYPE DATA TYPE ATA TYPE Web プラウザによる接続 設定 メニュー Web プラウザによる接続 設定 メニュー Web プラウザによる接続 設定 パーロ 設定 パーロ 設定 パーロ 設定 パーロ 設定 パーロ 設定 パーロ 設定 須目 10 Modbus/TCP 設定 11 設定 須目 12 アル送信設定 12 アル送信設定 13 ジェール ジェール<!--</td--><td>■ 底面凶</td><td></td><td>·······4</td>	■ 底面凶		·······4
■ P 7 F レスリセット用スイッチ (P Reset)	■ 動作モード設定用ディップス~	イッチ(Mode)	4
Modbus ファンクションコード 6 ■ Data and Control Functions 6 ■ Exception Codes 6 Modbus I/O 割付 7 DATA TYPE 7 通信接続 8 ■ Web ブラウザによる接続 8 ■ Web ブラウザによる接続 8 ■ 設定 メニュ 8 機器情報 9 製定項目 9 設定項目 10 WobUS/CP 設定 11 ● 設定項目 12 ● 設定項目 13 ● スール送信設定 13 ● スール送信観定 13 ● スール送信観定 13 ● スール送信観定 15 ● 設定項目 15 ● 設定項目 15 ● 設定項目 15 ● 以定項目 16 ● インと信敬定 17 ● イン送信数 17 ● ジール協会 17	■ IP アドレスリセット用スイッラ		5
■ Data and Control Functions 6 ■ Exception Codes 6 Modbus I/O 割付 7 ● F& ADDRESS MAP 7 ■ DATA TYPE 7 通信接続 8 ■ Web ブラウザによる接続 8 ■ 設定 メニュー 8 機器情報 9 ● 設定項目 9 ● 設定項目 9 ● 設定項目 10 Modbus/TCP 設定 10 ● 設定項目 11 ● 設定項目 12 ● 設定項目 13 ● ノル送信観腔定 13 ● ストル送信設定 13 ● ストル送信観腔 14 ● 以方一設定 15 ● 設定項目 15 ● 以方量 15 ● 以方量 16 ● 操作項目 16	Modbus ファンクションコード		
■ Cxeption Coolss 0 Modbus I/O 割付 7 ■ 子機 ADDRESS MAP 7 ③ CATA TYPE 7 ④ CATA TYPE 7 ● Material Construction 8 ● Web ブラウザによる接続 8 ● Web ブラウザによる接続 8 ● Web ブラウザによる接続 9 ● Web ブラウザによる接続 9 ● Web ブラウザによる接続 9 ● Web ブラウザによる接続 9 ● Web ブラウ グにとる接続 9 ● Web ブラウ グによる 接続 9 ● Web ブラウ グによる 接続 9 ● Web ブラロ グロ ジェ 10 ● Web ブラ クレ 11 ● Web ブラ クレ 11 ● Web ブラ クレ 11 ● Web ブラ クレ 12 ダール送信 機能の 主な仕様 13 ● スレール 13 ● Xer 項目 15 ● Web 項目 15 ● Web 項目 16 ● Web 項目 16	 Data and Control Functions ···· Exception Codes ····· 		·····6
Modbus I/O 割付 7 ● 子機 ADDRESS MAP 7 夏 DATA TYPE 7 適信接続 8 ■ Web ブラウザによる接続 8 ■ Web ブラウザによる接続 8 ■ 設定メニュー 8 機器情報 9 ■ 設定項目 9 ■ 設定項目 9 ■ 設定項目 9 ■ 設定項目 10 ■ 設定項目 10 ■ 設定項目 11 ■ 設定項目 12 ■ 設定項目 12 ■ 設定項目 12 ■ 設定項目 12 > 必定項目 12 > 少川送信設定 13 ■ 設定項目 13 ■ 設定項目 13 > ケール送信設定 13 > ケール送信設定 13 > ケールシール 14 > 送信 メールの容 15 ■ 設定項目 15 ● 設定項目 15 レジェッル 16 ● 休信 項目 16 ● 休信 項目 16 ● 休信 項目			0
• DATA TYPE 7 • DATA TYPE 7 • DATA TYPE 7 · Ide Table State 8 · Web ブラウザによる接続 8 · Web ブラウザによる接続 8 · Web ブラウザによる接続 9 · Web ブラウザによる後続 9 · Web ブラウザによる後続 9 · Web ブラウザによる後続 9 · Web ブラウザによる後続 9 · Web ブラウザによる後様 9 · Woldsus/TCP 設定 10 · Woldsus/TCP 設定 11 · Weigit 12 · Weigit 12 · Weigit 13 · Weigit 13 · · ·	Modbus I/O 割付 ············		
通信接続 8 Web ブラウザによる接続 8 設定メニュー 8 機器情報 9 設定項目 9 設定の保存 10 文定項目 10 設定項目 10 設定項目 11 設定項目 11 設定項目 12 シ皮項目 12 シスロル送信設定 13 シメール送信設定 13 シメール送信機能の主な仕様 13 マストメール 14 トリガー設定 15 設定項目 15 WO モニタ 16 操作項目 16 イベントログ・レ 17 イベントログ・レ 17 イベントレガン 17 イベントレ形式 17	■ 于被 ADDRESS MAP		
凹目を成 0 Web ブラウザによる接続 8 設定メニュー 8 機器情報 9 設定項目 9 設定項目 10 取定項目 10 Nodbus/TCP 設定 10 設定項目 11 920MHz 帯無線設定 12 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 設定項目 12 2 3 設定項目 12 2 2 2 2 3 3 13 3 14 2 2 14 14 14 15 15 16 16 17 16 18 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	资/号拉结		
■ 設定メニュー 8 機器情報 9 ● 設定項目 9 ■ 設定の保存 9 TCP/IP 設定 10 ■ 設定項目 10 Modbus/TCP 設定 11 ■ 設定項目 11 920MHz 帯無線設定 12 ■ 設定項目 12 ■ 設定項目 12 ■ 設定項目 12 ■ 設定項目 13 ■ 設定項目 13 ■ 設定項目 13 ■ 以定項目 13 ■ 以定項目 13 ■ 以定項目 13 ● 以定項目 14 ● 送信設定 15 ● 設定項目 15 ● 設定項目 15 ● 以定項目 16 ● 操作項目 16 ● 操作項目 17 ● イベントログとは 17 ● イベントレガ 17 ● イベント形式 17	■ Web ブラウザによる接続		
機器情報 9 設定項目 9 設定の保存 9 TCP/IP 設定 10 Dobust 10 Modbus/TCP 設定 11 ■ 設定項目 12 > Z ● 設定項目 ■ 設定項目 12 ■ 設定項目 12 > Z > -ル送信設定 ■ 認定項目 13 ■ スール送信機能の主な仕様 13 ■ フィンメール容 14 ■ 送信メール内容 15 NO モニタ 15 NO モニタ 16 ■ 操作項目 16 【ペントログとは 17 ■ イベントログとは 17 ■ イベント形式 17	■ 設定メニュー		
設定項目 9 設定の保存 9 TCP/IP 設定 10 設定項目 10 認定項目 10 Nodbus/TCP 設定 11 ■ 設定項目 11 920MHz 帯無線設定 12 ■ 決定項目 12 ● 決定項目 12 ● 次項量 13 920MHz 常無線設定 13 12 ● 未機登録 12 ● 未機登録 13 ● 決定項目 14 ● 法信機能の主な仕様 15 ● 設定項目 16 ● 操作項目 17 ● パントログ 17 ● パントログ 17 ● パントログ 17 ● パントレガン 17 ● パント形式	機器情報		
設定の保存 9 TCP/IP 設定 10 設定項目 10 Modbus/TCP 設定 11 副定項目 11 製定項目 11 920MHz 帯無線設定 12 ● 設定項目 12 ● 設定項目 12 ● 設定項目 12 ● 設定項目 13 ■ 次一ル送信機能の主な仕様 13 ■ 支信メール内容 14 ▶ 以方一設定 15 ■ 設定項目 15 ● 以定項目 15 ● 以定項目 16 ■ 操作項目 16 ■ 操作項目 16 ■ 操作項目 17 ■ イベントログ 17 ■ イベントログとは 17 ■ イベント形式 17	■ 設定項目		
TCP/IP 設定 10 設定項目 10 Modbus/TCP 設定 11 ■ 設定項目 11 920MHz 帯無線設定 12 ■ 設定項目 12 ■ 設定項目 12 ■ 設定項目 12 > 大ール送信設定 13 ■ 設定項目 13 ■ 設定項目 13 ● 以定項目 13 ● 以定項目 13 ● 設定項目 13 ● 以定項目 14 ● 送信メール内容 15 ● 設定項目 15 ● 設定項目 15 ● 設定項目 16 ● 操作項目 16 ● 操作項目 17 ● イベントログ 17 ● イベントログとは 17 ● イベント国数 17	■ 設定の保存		
● 設定項目 10 Modbus/TCP 設定 11 ■ 設定項目 11 920MHz 帯無線設定 12 ● 設定項目 12 ● 設定項目 12 ● ス機登録 12 メール送信設定 13 ■ 設定項目 13 ● 次個登録 13 ● スール送信機能の主な仕様 13 ● テストメール 14 ● 送信メール内容 15 ● 設定項目 15 ● 設定項目 15 ● 以のモニタ 16 ● 操作項目 16 イベントログ 17 ● イベントログとは 17 ● イベントログとは 17 ● イベント形式 17	TCP/IP 設定 ······		
Modbus/TCP 設定 11 設定項目 11 920MHz 帯無線設定 12 設定項目 12 マ機登録 12 メール送信設定 13 設定項目 13 設定項目 13 シール送信機能の主な仕様 13 テストメール 14 送信メール内容 14 ドリガー設定 15 設定項目 15 16 操作項目 イベントログとは 17 イベント間類 17 イベント間類 17 イベント形式 17	■ 設定項目		10
設定項目 11 920MHz 帯無線設定 12 設定項目 12 ア機登録 12 メール送信設定 13 設定項目 13 シール送信機能の主な仕様 13 テストメール 14 送信メール内容 14 ドリガー設定 15 設定項目 15 //O モニタ 16 操作項目 16 イベントログ 17 イベントログ 17 イベント形式 17	Modbus/TCP 設定		11
920MHz 帯無線設定 12 設定項目 12 子機登録 12 メール送信設定 13 設定項目 13 シール送信機能の主な仕様 13 テストメール 14 送信メール内容 14 ドリガー設定 15 設定項目 15 設定項目 16 操作項目 16 イベントログ 17 イベント超類 17 イベント形式 17	■ 設定項目		
● 設定項目 12 ● 子機登録 12 メール送信設定 13 ● 設定項目 13 ● メール送信機能の主な仕様 13 ● オールス信機能の主な仕様 13 ● オールス信機能の主な仕様 13 ● オールス信機能の主な仕様 13 ● オールス信機能の主な仕様 13 ● ジェクトレー 14 ● 送信メール内容 15 ● 設定項目 15 ● Wr 項目 16 ● 操作項目 17 ● イベントログ 17 ● イベントログ 17 ● イベント形式 17	920MHz 帯無線設定		
 	■ 設定項目		
メール送信設定 13 ■ 設定項目 13 ■ メール送信機能の主な仕様 13 ■ テストメール 14 ■ 送信メール内容 14 トリガー設定 15 ■ 設定項目 15 1/O モニタ 16 ■ 操作項目 16 イベントログ 17 ■ イベントログとは 17 ■ イベント形式 17	■ 于愤豆球		
設定項目 13 メール送信機能の主な仕様 13 ラストメール 14 送信メール内容 14 トリガー設定 15 設定項目 15 I/O モニタ 16 操作項目 16 イベントログ 17 イベントログとは 17 イベント型をし 17 イベント型がとは 17 イベント形式 17	メール送信設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
 ラストメール 送信メール内容 トリガー設定 設定項目 15 設定項目 16 操作項目 イベントログ イベントログとは イベント恒グとは イベント種類 イベント形式 	 ■ 設定項日		
 送信メール内容 14 トリガー設定 設定項目 15 設定項目 16 操作項目 イベントログ 17 イベントログとは 17 イベント種類 イベント形式 	■ テストメール		
トリガー設定 15 ■ 設定項目 15 !/O モニタ 16 ■ 操作項目 16 イベントログ 17 ■ イベントログとは 17 ■ イベント種類 17 ■ イベント形式 17	■ 送信メール内容		14
 設定項目 15 I/O モニタ 操作項目 イベントログ イベントログとは イベントログとは イベント種類 イベント形式 	トリガー設定・・・・・		
I/O モニタ 16 操作項目 16 イベントログ 17 イベントログとは 17 イベント種類 17 イベント形式 17	■ 設定項目		15
 操作項目 イベントログ イベントログとは イベント種類 イベント形式 	I/O モニタ		
イベントログ	■ 操作項目		
■ イベントログとは ·······17 ■ イベント種類 ······17 ■ イベント形式 ·····17	イベントログ		
■ イベント種類 17 ■ イベント形式 17	■ イベントログとは ············		
	 ■ イベント種類 ■ イベント形式		

IT40SW7 / IT50SW7 / IT60SW7

19
······20
21
21

機能概要

●トリガー

920MHz 帯無線子機の DI ON/OFF により表示灯、ブザーの制御、メール送信が可能。

●表示灯

1~5 段の積層表示ランプを 920MHz 帯無線子機の DI ON により点灯/点滅の制御が可能。 点滅制御はディップスイッチで 2Hz または 10Hz の選択が可能。 積層表示ランプは 0 段(なし)も選択可能。

●ブザー

920MHz 帯無線子機の DI 入力 ON により連続、断続の鳴動制御が可能。 断続制御はディップスイッチで 2Hz または 10Hz の選択が可能。

●通信

920MHz 帯特定小電力無線機能搭載。弊社製 920MHz 帯無線子機と通信可能。 920MHz 帯無線子機との通信データは本器の Modbus アドレスにマッピングされ、上位機器から Modbus/TCP で読み書き可能。 本器の IP アドレスは固定で設定する以外に、DHCP サーバによる自動設定も可能。 本器にホスト名を設定し、他の PC やスマートフォンからマルチキャスト DNS (mDNS) によるホスト名によるアクセスが可能。 100BASE-TX の Ethernet 搭載。

●設定

設定用のWebサーバを搭載しており、PCやタブレット、スマートフォンから接続して設定の変更が可能。 設定画面への接続は、ユーザ名、パスワードに入力よる保護。

●ロギング

トリガー動作、メール送信のエラーなどを最大 200 件のログとして参照可能。 ログのタイムスタンプは SNTP サーバとの時刻同期した時刻で付与可能。 ※本器のログは通電中のみ有効です。電源断するとログは失われます。

各部の名称



■状態表示ランプ

ランプ名	状態	表示色	動作	
Power	点灯	緑	供給電源 ON	
	点滅		IP Reset スイッチ ON	
	消灯		供給電源 OFF または機器異常	
Run	点灯	緑	Modbus/TCP 通信中	
Link	点灯	緑	100BASE(100Mbps)または 10BASE(10Mbps)でリンク中	
	点滅		データ送受信中	
	消灯		リンクなし	
Link100	点灯	緑	100BASE(100Mbps)リンク中	
	消灯		10BASE(10Mbps)リンク中またはリンクなし	
920Link	点灯	緑	920MHz 帯無線動作中	
	2Hz 点滅		20MHz 帯無線モジュールファームウェア書き換え中	
	消灯		920MHz 帯無線停止中	
PoE	点灯	緑	PoE 電源入力時	
	点滅		PoE 電源供給不足	

■動作モード設定用ディップスイッチ(Mode)

(*)は工場出荷時の設定

● ランプの点滅周期設定(Mode-1)

Mode-1	ランプの点滅周期
OFF	約 2Hz (*)
ON	約 10Hz

●ブザー音の断続周期設定(Mode-2)

Mode-	2 ブザー音の断続周期					
OFF	約 2Hz (*)					
ON	約 10Hz					

●ブザーの音圧レベル設定 (Mode-3、Mode-4)

ĺ	Mode-3	Mode-4	ブザーの音圧レベル
	OFF	OFF	小 (*)
Î	OFF	ON	中
Î	ON	OFF	大
Ì	ON	ON	最大

■IP アドレスリセット用スイッチ (IP Reset)

IP Reset	IPアドレスリセット	-	
OFF	通常 (*)		
ON	IP アドレス初期化		

IP Reset を ON にして本器の供給電源を ON すると、Power ランプが点滅し、本器の設定を工場出荷時の設定値で初期化します。 Power ランプの点滅を確認後、IP Reset スイッチを OFF に戻すと機器が自動的に再起動し、初期化した設定で機器が動作開始します。 IP アドレス設定等がわからなくなったときなどにご使用ください。

Modbus ファンクションコード

対応する Modbus ファンクションコードは、以下のとおりです。

Data and Control Functions

CODE	NAME	
01	Read Coil Status	Digital output from the slave
02	Read Input Status	Status of digital inputs to the slave
04	Read Input Registers	Collected data from the field by the slave
05	Force Single Coil	Digital output from the slave
15	Force Multiple Coils	Digital output from the slave

■Exception Codes

CODE	NAME	
01	Illegal Function	本器の Modbus/TCP で未サポートのファンクションコードです。
02	Illegal Data Address	本器の Modbus/TCP で未サポートのアドレスが指定されました。

Modbus I/O 割付

920MHz 帯無線設定の子機登録で1~8に割り当てた子機と下記の Modbus レジスタ経由でデータの読み書きが行えます。 子機との通信は無線接続している子機と順番に行います。

② 前回通信から無線子機の通信周期で設定された時間以上経過していないときは①で順番がきてもスキップします。

③出力レジスタに書き込みがあった場合は①の順番がきたときに通信します。このとき②のスキップは行いません。

④ 全子機の出力レジスタに書き込みがあった場合は、通常の子機との通信より優先して全子機宛にブロードキャスト通信します。

	ADDRESS	DATA TYPE	DATA
Coil (0X)	$1 \sim 1616$	DO	Digital Output (接点出力)
Input (1X)	$1 \sim 128$	DI	Digital Input (接点入力)
	$2001\sim2128$	S	Status (ステータス)
	$4001 \sim 4024$	D	Diagnosis (診断)
Input Register (3X)	$1 \sim 128$	AI	Analog Input (アナログ入力)

※上記以外のアドレスにはアクセスしないでください。誤動作の原因になります。

■子機 ADDRESS MAP

DATA	ADDRESS						
	子機1	子機 2	子機 3		子機 7	子機 8	全子機
Digital Output (接点出力)	$1 \sim 16$	$17 \sim 32$	$33 \sim 48$	•••	$97 \sim 112$	$113 \sim 128$	$1601 \sim 1616$
Digital Input (接点入力)	$1 \sim 16$	$17 \sim 32$	$33 \sim 48$	•••	$97 \sim 112$	$113 \sim 128$	
Status (ステータス)	$2001 \sim$	2017 \sim	2033 \sim	•••	$2097 \sim$	$2113 \sim$	
	2016	2032	2048		2112	2128	
Diagnosis (診断)	4001 \sim	4004 \sim	$4007~\sim$		$4019 \sim$	$4022 \sim$	
	4003	4006	4009		4021	4024	
Analog Input (アナログ入力)	$1 \sim 16$	$17 \sim 32$	$33 \sim 48$		$97 \sim 112$	$113 \sim 128$	

※全子機の ADDRESS に出力データを書き込むと、内容がブロードキャスト通信で全子機に送信され、子機 1~子機 8 の ADDRESS に上書きされます。

■DATA TYPE

DO/DI/S/AI:子機ごとにマッピング内容が異なりますので、各子機の仕様書をご確認ください。

D: Diagnosis(診断)は子機ごとに3ビットのデータで下記のように各子機の状態を示します。



0:子機未接続 0:子機正常

/ 1:子機接続 バッテリー状態 0:バッテリー容量正常 / 1:バッテリー容量低下 / 1:子機異常

通信接続

■Web ブラウザによる接続

本器の設置後は、Ethernet を介して PC やタブレット、スマートフォンの Web ブラウザから初期設定を行う必要があります。初期設定では、IP アドレス等の TCP/IP 設定や、920MHz 帯無線設定など本器の機能に関する設定を使用方法に合わせた内容に設定します。

本器のWebサーバ機能は、HTML5をサポートする多くのWebブラウザ環境でご利用いただけるように設計していますが、すべてのWebブラウザ、環境での利用は保証できません。弊社で動作確認したWebブラウザであっても、Webブラウザの設定やインストールされているセキュリティソフトなどにより、表示が乱れる、特定の機能が動作しない、端末の画面サイズにより一部表示が見切れるなどの可能性があることをご了承ください。

弊社にて動作確認した Web ブラウザを下表に列挙します。

動作機器	Web ブラウザ
Windows 10 または Windows 11 が動作する PC	Microsoft Edge 126.0
	Firefox 127.0
	Chrome 126.0
iOS17 が動作する iPhone または	Safari
iPad OS17 が動作する iPad	Chrome 126.0
Android14 が動作するスマートフォンまたはタブレット	Chrome 126.0

本器の工場出荷時設定 IP アドレスは 192.168.0.1 です。本器を設定する PC 等のアドレスを 192.168.0.5 等の 192.168.0.1 と通信可能 なアドレスに設定して本器と Ethernet ケーブルで接続してください。

接続後、Web ブラウザ画面で http://192.168.0.1/ に接続してください。

正常に接続されると、右図のようなユーザ認証画面が Web ブラ ウザ上に表示されます。Web ブラウザの表示はお使いの OS や、 Web ブラウザの種類、バージョンによって異なります。

本器の設定用ユーザ名とパスワードの出荷時設定値は"admin" です。ユーザ名とパスワードを入力してログインしてください。 入力後、右下図のような設定メニューが表示されます。

■設定メニュー

ログアウトボタン操作で、ユーザ認証画面に戻ります。

	ユー1	が認証
ユーザ名		
パスワード		
	ログ	イン
S 07791		=1-
設定 機器信報 TCP/P設定 Modbus/TCP設定 920MH-IFS構成設定 送信メール設定 トリガー設定	1872 ×	- ユー 操作 1/00モラク イベントログ 920MH2帯毎該L水口ジモニタ 920MH2帯毎該電変測定 メンテナシス

機器情報

設定メニューの機器情報で下表の項目が設定できます。

☑ 戻る	機器情報	反	保存 🖌
タグ	test-tag		8/16
設定ユーザ名	admin		5/32
設定パスワード	admin		5/32

■設定項目

項目	説明	初期値
設定ユーザ名 / 設定パスワード	設定メニューにログインするためのユーザ名、パスワードを変更できます。 本設定は、出荷時設定値から変更することを強くおすすめします。 32文字までの任意の文字で設定可能です。	admin / admin

■設定の保存

各設定内容を変更後、画面右上の保存ボタン操作で、本器に登録され設定メニュー画面に戻ります。画面左上の戻るボタン操作した場合は、変更を設定せずに設定メニュー画面に戻ります。この手順は、機器情報以外の設定でも同じです。

設定保存後、設定メニューに戻ると、下図のように再起動するボタンが現れます。他に設定変更する場合は設定変更を継続し、設定変 更完了であれば、再起動するボタンを操作して機器を再起動し、設定変更内容を機器に適用してください。

◎ ロクアウト 設定メニュー		
設定変更を適用するには機器を再起動しなければな	ಥರಿಕೆನ್ನು ಸಯಿಸಿ∵ಕ	
設定 準確情報 TCP//P設定 920MHz等無模型定 送信メール設定 トリガー設定	操作 I/Oモニタ イベントログ 920MHz等系録トズロジモニタ 920MHz等系録電変測定 メンテナンス	

TCP/IP 設定

設定メニューの TCP/IP 設定で下表の項目が設定できます。

○ 戻る	TCP/IP設定	保存 🖌
アドレス設定	手動	۲
IPアドレス	192.168.0.1	
サプネットマスク	255.255.255.0	
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0	
DNSサーバアドレス	0.0.0.0	
ホスト名		0/32
SNTP/NTPサーバ名		0/64

■設定項目

項目名	説明	初期値
アドレス設定	本器の IP アドレスとサブネットマスク、デフォルトデートウェイ、DNS サーバアドレ	手動
	スを手動で設定するか、DHCP サーバを利用して自動で設定するか選択します。	
	● 手動	
	● 自動	
IPアドレス /	本器の IP アドレスとサブネットマスクを設定します。	192.168.0.1 /
サブネットマスク		255.255.255.0
デフォルトゲートウェ	外部ネットワークにつながるルーターのアドレスを設定します。	0.0.0.0
イ	外部ネットワークと通信しないローカルネットワーク内限定で使用する場合は、デフォ	
	ルトゲートウェイの設定は、0.0.0.0 (使用しない)のままでかまいません。	
DNS サーバアドレス	DNS サーバのアドレスを設定します。	0.0.0.0
	SNTP/NTP サーバ、SMTP サーバを名前で設定する場合は本設定が必要です。名前で	
	設定せず、IPアドレスで設定する場合、本設定は、0.0.0.0(使用しない)のままでかま	
	いません。	
ホスト名	本器のホスト名を設定します。	
	設定したホスト名を使用して、他の PC、スマートフォンなどから本器にマルチキャス	
	ト DNS(mDNS)を利用して hostname.local の名前でアクセスすることが可能です。	
	また送信メールにもホスト名が記載されます。	
	32 文字までの任意の文字で設定可能です。	
SNTP/NTP サーバ名	時刻同期する SNTP/NTP サーバを設定します。	
	設定したサーバと機器起動時と、以後およそ1日ごと(サーバの負荷分散のため毎日同	
	じ時刻には同期しないようにしています)に時刻同期を行います。同期した時刻に基づ	
	いてログのタイムスタンプを生成します。	
	64 文字までの任意の文字で設定可能です。	

設置場所に適切な内容を設定してください。設定内容がわからない場合は、ネットワーク管理者様、ネットワークの敷設業者様等にご 確認ください。

注意事項

本器の TCP/IP 設定がわからなくなり、他の機器からネットワークで接続できない場合は、本取扱説明書の「P.5 IP アドレスリセット用スイッチ (IP Reset)」を参照して、設定の初期化を行ってください。

Modbus/TCP 設定

戻る	Modbus/TCP設定	保存
!— ト	502	
続タイムアウト(秒)	60.0	
unランプ点灯タイムアウト »)	5.0	
/)		

設定メニューの Modbus/TCP 設定で下表の項目が設定できます。

■設定項目

項目名	説明	初期値
ポート	Modbus/TCP 通信で使用する TCP ポート番号を設定します。1~65535 の範囲で設定 できます	502
	Modbus/TCP 通信で一般的に使用されているポート番号は 502 です。変更の必要がな ければそのままご使用ください。	
接続タイムアウト	Modbus/TCP 通信で、無通信の TCP コネクションを切断するまでの時間を設定しま	60.0 秒
	す。設定は 5.0~3200.0 秒の範囲で行えます。	
Run ランプ点灯タイム	Modbus マスターから本器に対するの読み出し/書き込みクエリが途切れてから、本設	5.0 秒
アウト	定時間が経過すると、Run ランプが消灯して異常を知らせます。設定は 0.0~3200.0	
	秒の範囲で行えます。	

920MHz 帯無線設定

設定メニューの 920MHz 帯無線設:	官で下表の項目が設定できます。	(下記画面はファームウェアバージョ)	ン2.0のものです。)
----------------------	-----------------	--------------------	-------------

 戻る 	920MHz带無線設定	保存 🖌
無線起動設定	無線起動する	۲
PAN ID(グループ番号)	0000	
チャネル番号	lch	۲
暗号鍵	000000000000000000000000000000000000000	32/32
送信出力設定	20 mW	۲
省電力周期設定	省電力	۲
	子機登録	

■設定項目

項目名	説明	初期値
無線起動設定	920MHz 無線の起動有無を設定します。	無線起動
	本器の無線起動設定は「無線起動する」固定です。無線を停止することはできません。	する
PAN ID (グループ番号)	920MHz 帯無線を識別するための ID を 0000~FFFF の範囲の 16 進数で設定しま	0000
	す。複数の 920MHz 帯無線親機で複数のネットワークを構築する場合は、おのおのの	
	親機に異なる PAN ID を設定しなければなりません。	
チャネル番号	920MHz 帯のどのチャネルを使用するかを 1~28ch から選択します。	1ch
暗号鍵	920MHz 帯無線子機の接続を許容するための暗号鍵を 32 桁の 16 進数で設定します。	ALL 0
送信出力設定	920MHz帯無線の電波送信出力を下記から選択します。	20 mW
	• 1 mW	
	• 20 mW	
省電力周期設定	920MHz帯無線の動作を下記から選択します。設定を省電力に近づけると無線子機の	省電力
	パッテリー寿命が向上しますが、通信速度は落ちます。設定をスリープなしに近づけ	
	ると、無線子機のパッテリー寿命は低下しますが、通信速度は向上します。	
	● 省電力	
	● バランス	
	● 低遅延	
	● スリープなし	

■子機登録

920MHz 帯無線の子機を上位機器との Modbus 通信でのどのアドレスにマッピングするかを登録します。登録していない子機は、データのやりとりは行いません。子機登録を行う事でデータのやりとりを行い、設定した子機 ADDRESS MAP を介して上位通信機器とのやりとりが行えます。

00:00:00:00:00:00:00	0
00:00:00:00:00:00:00	0
00:00:00:00:00:00:00	0
00:00:00:00:00:00:00	0
00.00.00.00.00.00.00	0
00:00:00:00:00:00:00:00	0
00:00:00:00:00:00:00	0
00:00:00:00:00:00:00	0

各子機番号の欄に子機の MAC アドレスを設定することで登録できます。

また、画面右の鉛筆アイコンを操作し、現在 920MHz 帯無線に接続 している子機一覧から選択して設定することもできます。

子機の MAC アドレスは子機側でコンフィギュレータソフト (形式: W920CFG) を使用しても確認できます。

メール送信設定

トリガー発生、解除時に、設定したメールアドレスに電子メールを送信することができます。設定メニューの送信メール設定で下表の 項目が設定できます。

反 反 6	メール送信設定	保存 🖌
SMTPサーバ		0/64
ポート	587	
暗号化	STARTTLS	Ø
認証	する	٢
認証ユーザ名		0/64
認証パスワード		0/64
メールアドレス		0/64
宛先1		0/64
宛先2		0/64
宛先3		0/64
宛先4		0/64
宛先5		0/64
宛先6		0/64

■設定項目

項目	説明		初期値
SMTP サーバ	送信する SMTP サー	-バを設定します。	
	64 文字までの任意の)半角文字で設定可能です。	
ポート	SMTP サーバのポー	・ト番号を設定します。多くの場合、587、465、25 のいずれかです。	587
暗号化	通信を暗号化するか	を下記の3通りから選択します。	STARTTLS
	●なし	暗号化しません。	
	•SMTP over SSL	接続直後から暗号化します。通常、ポート 465 での通信はこの暗号	
		化を使用します。	
	● STARTTLS	暗号化なしで接続し STARTTLS コマンド発行後、暗号化します。 通	
		常、ポート 587 での通信はこの暗号化を使用します。	
認証	通信でユーザ認証す	るかを選択します。	する
	●しない		
	●する		
認証ユーザ名	認証で「する」を選	択した場合、認証に使用するユーザ名とパスワードを設定します。	
認証パスワード	64 文字までの任意の半角文字で設定可能です。		
メールアドレス	送信するメールの送信元メールアドレスを設定します。		
	64 文字までの任意の)文字で設定可能です。	
宛先 1~宛先 10	メールの送信先を設	定します。最大 10 のメールアドレス宛に送信できます。	
	64 文字までの任意の)文字で設定可能です。	

メールサーバの設定はご使用になるメールサーバを運用する団体、管理者様等にご確認ください。

■メール送信機能の主な仕様

暗号化プロトコル	TLS 1.0 / TLS 1.1 / TLS 1.2 / TLS 1.3
	※本器と SMTP サーバで使用できる最大強度の暗号化プロトコルを自動で選択します。また、本器では SMTP
	サーバから本器に送信された電子証明書の検証は行いません。
認証方式	LOGIN認証のみ
送信リトライ	最大5回、リトライ間隔2分
	※テストメール送信時はリトライ5回、リトライ間隔は0分となります。

IT40SW7 / IT50SW7 / IT60SW7

■テストメール

宛先 10 の設定欄の下に、テストメールの欄があります。送信するボタンを操作すると、画面上の設定内容を保存した後、設定した宛先 にテストメールを送信します。

SMTP サーバとの通信内容と最後に結果メッセージが表示されますので、設定後の動作確認等にご利用ください。

テストメール送信後、宛先にメールが届かない場合、下表の対処例を参考に設定を見直してください。

結果メッセージ	対処例
テストメールを送信しました。	SMTP サーバにはメールが送信完了しています。
	宛先にメールが届かない場合は、宛先アドレスに誤りはないか、宛先アドレ
	スのメールフィルタで本器からのメールを拒否する設定になっていないか
	を確認してください。
SMTP サーバ、メールアドレス、宛先、認証ユーザ	いずれかの設定が空欄になっています。設定を行ってください。
名、認証パスワードの設定が行われていません。	認証する設定の場合は、認証ユーザ名と認証パスワードの設定も必要です。
SMTP サーバの DNS 名前解決に失敗しました。	SMTP サーバ名、DNS サーバ、デフォルトゲートウェイなどの設定に誤り
	がないか確認してください。
	DNS サーバが外部ネットワークにある場合、そこに至るネットワーク経路
	に問題がないか確認してください。
SMTP サーバに接続できませんでした。	SMTP サーバ名、暗号化、デフォルトゲートウェイなどの設定に誤りがない
	か確認してください。
	SMTP サーバが外部ネットワークにある場合、そこに至るネットワーク経路
	に問題がないか確認してください。
SMTP サーバが予期せぬレスポンスを返しました。	暗号化、認証、認証ユーザ名、認証パスワードに誤りがないか確認してくだ
(レスポンス=xxxxxxx)	さい。

■送信メール内容

送信されるメールには下記のようなものがあります。

送信条件	送信内容
トリガー発生、解除	[ホスト名],トリガー,子機[子機番号],DI[DI 番号], [発生 or 解除],[DI の説明]
無線子機バッテリー容量低下	[ホスト名],軽故障,子機[子機番号],バッテリー容量低下
無線子機異常	[ホスト名],軽故障,子機[子機番号],子機異常

本文、タイトルともに同じ内容となります。

ホスト名の設定が空欄の場合、ホスト名は記載されません。

トリガー発生、解除はメール送信が「送信する」に設定されたトリガー発生/解除時に送信されます。

無線子機バッテリー容量低下、無線子機異常のメールはメール送信設定が行われている場合、必ず送信されます。送らないように設定 することはできません。

送信メールを送らないうちに同じ条件が何度も発生した場合(たとえば同じトリガーの発生と解除が続けて何度も起きた場合など)、メ ールの送信が1度にまとめられる可能性があります。

トリガー設定

無線子機の DI1~DI4 をトリガーとして、表示灯ランプの点灯やブザーの鳴動、メール送信を行うよう設定することができます。設定 メニューのトリガー設定で下記の画面が表示され、子機を選択すると子機ごとのトリガーを設定できます。

В #5 トリガー	設定	 反 度 6 	子機1トリガー設定	保存 🖌
子微1	0	DII		
子機2	0	説明		0/64
700		メール送信	送信しない	
子版3	0	ランプ/ブザー	なし	0
子幾4	٥	DI2		
子機5	0	說明		0/64
子機6	9	メール送信	送信しない	0
		ランプ/ブザー	なし	\odot
子機7	0	DI3		
子機8	0	説明		0/64
		メール送信	送信しない	0
		ランプ/ブザー	なし	۲
		DI4		
		就明		0/64
		メール送信	送信しない	\odot
		ランプ/ブザー	なし	0

■設定項目

項目	説明		初期値
説明	DIの説明を設定します。		
	本設定はトリガー発生、解除のイ	「ベントログや、送信メールで使用されます。	
	64 文字までの任意の文字で設定す	可能です。	
メール送信	DIの ON/OFF(トリガー発生、	解除)時にメール送信するか選択します。	送信しない
	●送信しない		
	●送信する		
ランプ/ブザー	DIのON(トリガー発生)時の新	長示灯ランプ、ブザーの制御を選択します。	なし
	●なし		
	●ランプ n 点灯	ランプ <i>n</i> を点灯します。	
	●ランプ n 点滅	ランプ n を点滅します。	
	●ランプ <i>n</i> 点灯(ブザーあり)	ランプ nを点灯し、ブザーを鳴動します。	
	●ランプ n 点滅(ブザーあり)	ランプ nを点灯し、ブザーを断続します。	

同じランプ、ブザーに対して複数のトリガーが点灯(鳴動)・点滅(断続)を同時に発生させた場合、点灯(鳴動)が優先されます。

I/O モニタ

設定メニューの I/O モニタで機器のランプやブザーの動作確認を行うことができます。また接点入力信号の状態を確認することもでき

₹ð	I/Oモニタ		
幾器情報			
形式 機番 ファームウェアバージョン MACアドレス 920MHz帯無線ファームウェアバージョン 920MHz帯無線MACアドレス 920MHz帯無線状態 サポート情報		IT60SW7-5RYGBWD2J-N TESTN2 1.0.5 55RMP.02.00.0000 年間日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	
ランプ状態			
ランプ1:赤	点灯	点滅	消灯
ランプ2:黄	点灯	点滅	消灯
ランプ3:緑	点灯	点滅	消灯
ランプ4:音	点灯	点滅	消灯
		Je Sal	治灯
ランプ5:白	点灯	唐.M.	1414

■操作項目

機器情報

形式	本器の形式		
機番	本器の機番		
ファームウェアバージョン	本器のファームウェアバージョン		
MACアドレス	本器の Ethernet MAC アドレス		
920MHz 帯無線ファームウェアバージョ	920MHz 帯無線モジュールのファームウェアバージョン		
ン			
920MHz 帯無線 MAC アドレス	920MHz 帯無線モジュールの MAC アドレス		
920MHz 帯無線状態	920MHz 帯無線の状態		
	正常(NW 未参加)	正常、ネットワーク未参加。	
	正常(NW 参加)	正常、ネットワーク参加。	
	障害中	920MHz 帯無線モジュールになんらかの障害	
		が発生しています。機器の電源再投入、機器	
		の再設定で復帰しない場合は機器の故障の可	
		能性があります。	
	無線停止中	920MHz 帯無線を停止しています。	
- サポート情報	弊社サポートが使用するメンテナ	 ンス情報	
	•		

ランプ状態

ランプ格段の色と点灯状態、ブザーの状態を表示します。

ボタン操作で、ランプとブザーの動作確認が行えます。

イベントログ

設定メニューのイベントログで記録されたイベントログを確認することができます。

反 展 3	イベントログ	更新 🕝
機器時刻 2019/11/28 10:19:	54	
2019/11/27 13:26:18 通知	ISNTPによる時刻調整が行われました	

■イベントログとは

本器は決められたイベントが発生するごとに、その日付とともにイベントログを記録します。イベントは最大 200 件まで記録でき、201 件目を記録する際、古いイベントを1件削除します。

イベントログの日時は本器通電直後、0000/01/01 00:00:00 からカウントアップされた表記となります。

SNTP/NTP サーバと時刻同期後、現在時刻の表記となります。

本器のイベントログは機器の電源 OFF で保持しせず、すべて削除されます。機器の再通電後1から記録開始します。

■イベント種類

イベントには下表の3種類があります。

* 1 (CI& X > 0)	
通知	時計を調整したなどの、通常運用上発生する事象を記録します。
トリガー	トリガー発生またはトリガー解除したときに記録します。
軽故障	障害が発生したときに記録します。続けて何度も同じイベントが発生する場合、「P.18
	軽故障」に記された対策を行ってください。

■イベント形式

下記のように、日付日時、イベント種類、イベントメッセージが","(カンマ)で区切られた形式です。 YYYY/MM/DD HH: MM:SS, イベント種類, イベントメッセージ

■通知

イベントメッセージ	内容
SNTP による時刻調整が行われました	SNTP/NTP サーバを利用した時刻調整を行いました

■トリガー

トリガーの発生、解除時に記録します。

下記の形式で、aには子機番号、bには DI 番号、cc には"発生"または"解除"の文字が入ります。dd にはトリガー設定で DI に設定した 説明の文字列が入ります。

子機 a,DIb,cc,dd

トリガーのイベントログの日時は子機でトリガーの事象が発生した日時ではなく、子機から親機に通信でトリガーが伝達された日時です。

IT40SW7 / IT50SW7 / IT60SW7

IT40SW7 / IT50SW7 / IT60SW7

イベントメッセージ	内容と対処方法
SNTP による時刻調整に失敗しました	SNTP/NTP サーバを利用した時刻調整に失敗しました。
	具体的な失敗理由を後続に記録します。理由を下記に列挙します。
	・SNTP/NTP サーバが設定されていません
	SNTP/NTP サーバ名の設定欄に何も設定されていません。ご使用になるサーバ
	名を設定してください。
	・SNTP/NTP サーバの DNS 名前解決に失敗しました
	SNTP/NTP サーバ、DNS サーバ、デフォルトゲートウェイなどの設定に間違い
	がないか確認してください。
	DNS サーバが外部ネットワークにある場合、そこに至るネットワーク経路に問
	題がないか確認してください。
	・SNTP/NTP サーバからの応答がありません
	SNTP/NTP サーバ名 デフォルトゲートウェイなどの設定に辿りがないか確認
	してください
	SNTP/NTP サーバが外部ネットワークにある場合 そこに至るネットワーク経
	8に問題がかいか確認してください
	・SNTP/NTP $+$ ーバが音図」たい広気を返しました
	おいれれていて、かぶ回しないからを送しました 指定したサーバが SNTP/NTP サーバであることを確認してください
	相定した $y = y$ North NTE $y = y$ Collaboration Collaborati
	SNTP/NTP サーバから 同期を1 たいでほ1 い旨の広答 (Kiss-O'-Dooth) を受
	$f(\mathbf{M}, \mathbf{M}, \mathbf{M})$ 、「「別をしない」になり、「自の心告(\mathbf{M} SO Death)を文 $f(\mathbf{M}, \mathbf{M})$ 、「「「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「
	にしょした。この心谷と又信した物白は、城谷と丹起勤りるよく時刻的知識100 ません。設定された SNTD/NITD サーバのサービスが数了する笑で。 今後同期け
	などの。
メニル送信に生助しました	Coat(1) 能性// $a)$ りょう。 $h(0)$ SN $H/NH + 0$ の 設定 こ 便的 く に C い。
/ ル区旧に入放しよした	
	具体的な大敗理由を後続に記録します。理由を下記に列挙します。 - メール光信動空に割りがちります
	・ / 一ル送信設定に誤りかめりまり
	ケール送信設定に誤りがのるため、ケール送信できませんてした。ケール送信設 字のサーバターューザターパフロード、定生ねじが過て日無ノ語字されているか。
	たのり一八石、ユーリ石、ハスワード、旭元などが週小定悪く設定されているが 強烈ノださい
	・SMILL リーハッ DINS 石削胖(たに大敗しました CMTD サーバ DNC サーバ デフェルトゲートウェイカドの部字に開造いがな
	SMIFリーバ、DNSリーバ、ノフォルドリードリエイなどの設定に間違いがな
	V M $m_{\mu\nu}$ U V L C V
	DING ダーバルト的ホットシークにのる物白、ここに主るホットシーク柱的に向 販がわいか確認してください。
	EMTD 出一 バロ 協定 できままし つした
	・SMILF リーバに接続 しさません しした CMTD サーバタ デフェルトゲート ウェイカ じのむ 完に調り がわいか 確認し アイ
	SMILF リーバロ、アフォルドワードリエイなどの設定に誤りがないが確認してく
	SMIP リーハル外部不ツトワークにのる場合、てこに主る不ツトワーク経路に同 販売ないいか変別してください。
	・SMIPサーハル息凶しないレスホンスを返しました(レスホンス=XXXXXXX) ウロル 認証 認証 - ギタ 認証 パフロ - ビに調りがわいか変現してください
	暗方化、認証、認証ユーリ名、認証ハスワートに設りかないか確認してくたさい。
	xxxxxxx は SMTP サーハからの応答メッセーンを取入 100 义子よで表示しよ
	す。SMTPサーバの応答メッセーンは、メールサーバの仕様により異なりますの
	で、その内谷に関しましてはメールサーバを官埋する団体、官埋者様へお問い合
ナ機 a,パッアリー谷重低ト	+ 伏 a(+ 桜番号)のパッアリー谷重の低下を検出しました。
	/ バッアリーを交換してください。
子機 a,子機異常	子機a(子機番号)の子機異常を検出しました。
	子機の動作を確認してください。
	子機に異常が見つかった場合は、修理、交換等をご検討ください。

■軽故隨

920MHz 帯無線トポロジモニタ

設定メニューの 920MHz 帯無線トポロジモニタで、本器に接続している 920MHz 無線子機を表示できます。

🕞 戻る		920MHz帯無線トポロジモニタ	
子機アドレス	親	MACアドレス	HOP数
1	O(親機)	act01a4.0013c188.00182	1
2	O(親機)	ser04s4003c8888817	1

■操作	乍項目	
1	更新	920MHz 帯無線子機一覧を更新します。

920MHz 帯無線電波測定

設定メニューの 920MHz 帯無線電波測定で、本器に接続している 920MHz 無線機器間で RSSI の測定を行えます。

🕞 戻る	920MHz带無線電波測定
電波送信元から指定した数のテス 止します。	トバケットをブロードキャスト送信し、各機器の受信状況を取得します。電波測定中は、子機との通常の通信処理は停
電波送信元(0=親機)	0
送信パケット数(1~3000)	100
電波測定開始キャンセル	1

測定を行う際は、電波送信元の欄に 920MHz 帯無線内の機器の中から、RSSI 測定用のテストパケットを送信する機器を入力します。 ● 0 は親機である本器

● 1~8 は子機登録した無線子機

● 4 桁の 16 進数 0066~fffe は子機登録していない無線子機(920MHz 帯無線トポロジモニタで確認可能) をあらわします。

テストパケットを送信する数は1~3000の範囲で入力します。

電波測定開始ボタンを操作すると、測定を開始します。テストパケットは指定した無線機器から周囲に向かって送信します。このテストパケットは、通常の通信のように子機をホップしません。まわりの無線機器は直接受け取ったテストパケットの数と、受信時のRSSIを記録します。

入力した数のテストパケットの送信が完了すると、他の無線機器で記録した受信パケットの数と RSSI が親機に収集され下記のように 表で表示します。

5 x 🕢			920MHz帯無線電波	測定	
電波通信売から指加 止します。	Eした数のテス	トパケットをプロードキ	ャスト送信し、各機器の受信	大況を取得します。電波測定中(は、子機との過常の通信処理は停
電波通信元(0=親機)	0			
送信パケット数(1~	-3000)	100			
電波測定開始	キャンセル				
電波測定完了					
結果を保存					
子機アドレス	親	受信パケット数	最大RSSI(dBm)	最小RSSI(dBm)	平均RSSI(dBm)
1	0(統/證)	100	-44	-52	-47.54
2	0(紀/證)	100	-16	-21	-17.88

表示データは無線機器ごとに

"無線機器の子機アドレス", "親のアドレス", "受信パケット数", "最大 RSSI", "最小 RSSI", "平均 RSSI"

の 6 項目となります。無線の不調などでテスト結果が収集できなかった子機の結果は数値ではなく"-"(ハイフン)で表示します。 結果を保存ボタンの操作で結果を csv ファイルとして保存することができます。

メンテナンス

設定メニューのメンテナンスで下図のメンテナンス操作が行えます。(下記画面はファームウェアバージョン 2.0 のものです。)

⑤ 戻る メンテナンス	
機器再起動	
再起動する	
ファームウェアアップデート	
(<u>777ルを選択</u>)ファイル未選択	
アップデートする	
設定をファイルに保存する	
保存する	
設定をファイルから機器に転送する	
(ファイルを選択)ファイル未選択	
転送する	

■操作項目

機器再起動	再起動するボタンで機器を再起動します。
ファームウェアアップデート	ファイルを選択ボタン (Web ブラウザによっては参照等、他の名称の場合もあります) でファー
	ムウェアファイルを選択し、アップデートするボタンでファームウェアを機器に転送します。転
	送後、機器を再起動するとファームウェアのアップデートがおこなわれ、アップデート後のバー
	ジョンで起動します。
設定をファイルに保存する	保存するボタンで設定ファイルを機器から読み出し、ファイルとして保存することができます。
	iOS、iPadOS をご利用の場合、「設定を読み出し中…」という表示から変化しない場合がありま
	す。その場合、Web ブラウザの再読み込みを実施してください。
	設定ファイルは問題なく読み出だすことができます。
設定をファイルから機器に転送	ファイルを選択ボタン (Web ブラウザによっては参照等、他の名称の場合もあります) で設定を
する	保存したファイルを選択し、転送するボタンで設定を機器に転送し、書き込みます。
	転送後、機器を再起動すると設定変更内容が機器に適用されます。